

こ こ ろ

~ 学 年 だ よ り ~

大阪市立住之江中学校

第1学年

12月 4日発行



見て、聴いて、感じよう！パラリンピック・キャラバン

12月 6日(金)の5・6時間目、1年生では、パラリンピック・キャラバンをお迎えし、「心のバリアフリー」の学習に取り組みます。

文化発表会での「巨大モザイク画」の共同制作では、みんながお互いに声をかけ合ったり助け合ったりした経験が積み重なり、学年は、徐々にではありますが、穏やかな雰囲気になってきています。できることも多くなってきました。

「素直な心」「思いやりの心」「熱い心」という学年目標には、自分を大切にし、周りの人も大切にする心を育んでいこうという意味が込められています。

道徳の学習でも、どちらかが正しい、正しくない、失敗した後に気づく自分や人の心の成長や人としてよりよく生きるために必要なものはなにか、を考える機会をもっています。

国語の授業でも、人がなにか行動を起こすのには理由があることやどうしようもないことが起こってしまったり、取り返しのつかないことになってしまったりする小説を学んでいます。人の「心」の中には、一言で説明できない気持ちや自分一人では抱えきれない気持ちもあります。「心」は目には見えないので、見えないものを言葉で表現する言葉を獲得するのも豊かに生きる力です。



中学校の3年間で、みんなは見違えるほど成長します。身体だけではなく、「こころ」も成長します。それには、「多くの人と出会い、さまざまことを経験する」ことも必要です。**自分自身の「こころ」を育てる**機会として、パラリンピック・キャラバンのみなさんの**お話やフレーを受け入れる心**でお迎えしましょう。きっと、みんなの「こころ」は揺さぶられるはずです。

パラキャンの前に

右の写真を見てください。一生懸命スポーツに打ち込んでいる人の写真です。

陸上に水泳にバスケットボール。しかもこの方たちはオリンピック選手です。スポーツが上手で、体力があり、精神力が強い人が多数いらっしゃると思います。世の中、この社会は様々な人が一緒に生きています。それを**「共生」といいます。****「共に生きる。」**髪の色が違う、目の色、肌の色が違う、そして個性も違う。または、体のつくりが違う……。様々な違いがあるからこそ、たくさんのがんばりが生まれ、豊かな社会になっているのではないでしょうか。ただ、豊かな社会を作るには

「心と心の通い合い」が大切になってきます。自分が得意なことを頑張り、仲間や周囲の人が何かに困っていたら声をかける。その人がしてほしいことを聞く。気を配る。そんな心の通い合いがたくさんあれば、どんどんと住みやすい世の中になっていくのではないかでしょうか。

当日は「車いすバスケット」「ウィルチェアラグビー」の選手にお越しいただきます。足が不自由であってもみんなと同じようにスポーツをし、車に乗り、仕事をし、健常な人と変わらない生活をされています。

前半は、全体でプレーを見たり、一緒にプレーしたり、お話を聴いたりします。

後半は、クラスごとに、質問に応えていただく時間をとります。

訊いてみたいことを考えて、参加してください。

保護者のみなさま
お時間があるよう
したら、ぜひお越し
ください。



12月6日(金)までに取り組むこと

- クラスで4名ずつ、体験生徒を決めておく。
- 班ごとに、質問3つを考え、それぞれの質問者を3人ずつ決めておく。
⇒班長を通じて学代に手渡す。
⇒学代は、質問を整理しておく。

12月 6日(金) 体操服・体育館シューズ

- 昼食が終わったら、更衣をすませ、体育館2Fに集合する。(整列しておく)
- 1~5組の生徒会役員と学級役員は、体育館前に集合し、車いすを運ぶ
お手伝いをお願いします。

